

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年8月10日

【四半期会計期間】 第79期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内 弘 幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第78期 第1四半期 連結累計期間		第79期 第1四半期 連結累計期間		第78期	
	自 至	平成22年4月1日 平成22年6月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年6月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高 (千円)		16,051,496		17,780,349		67,484,573
経常利益 (千円)		1,251,259		1,367,871		5,116,002
四半期(当期)純利益 (千円)		670,044		785,104		2,733,482
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		322,608		710,786		2,567,117
純資産額 (千円)		33,857,705		36,646,996		36,338,990
総資産額 (千円)		56,966,810		64,676,165		65,916,555
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		12.14		14.24		49.57
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		58.5		54.9		53.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式がないため、記載していません。
4. 第78期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しています。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により、企業の生産や輸出が減少し、設備投資や個人消費が低迷するなど、景気の不透明感を一層強めながら推移しました。

このような状況のもと、当社グループは販売体制の強化をはかるとともに積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は177億80百万円（前年同期比10.7%増加）、営業利益は12億8百万円（前年同期比14.3%増加）、経常利益は13億67百万円（前年同期比9.3%増加）、四半期純利益は7億85百万円（前年同期比17.1%増加）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガス事業

ガス事業において、主力製品の『溶解アセチレン』は、自動車、建設、橋梁等仕向け先業界全般にわたり需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、酸素、窒素が鉄鋼、自動車、建設、化学、電機及び半導体などの製造業界全般にわたり需要が減少したものの、LPガスが輸入価格の上昇に伴ない売上高が増加し、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、溶接棒等の消耗品関係は需要が減少したものの、スポット需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、特殊容器の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は135億4百万円（前年同期比7.4%増加）、営業収入は61百万円（前年同期比13.5%減少）、営業利益は10億96百万円（前年同期比3.0%増加）となりました。

化成品事業

化成品事業において『接着剤』はペガールが、土木・建築用が震災の影響を受け減少したものの、粘着剤用がテープ用途に需要を伸ばし、塗料用は新規需要により増加しました。瞬間接着剤シアノンは国内向けが弱電関係に好調な伸びを示し、海外向けは円高の影響を受けたものの拡販に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、防水保護塗料HPが減少したものの、室内温度を下げる遮熱塗料クールトップ及び外壁パネル用塗料が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は40億71百万円（前年同期比23.5%増加）、営業収入は11百万円（前年同期比0.3%減少）、営業利益は3億37百万円（前年同期比87.0%増加）となりました。

その他事業

その他事業は、L S Iカードの鉄道、産業機械向けの需要の回復と新興国向けの容器等の需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億5百万円（前年同期比9.1%増加）、営業利益は19百万円（前年同期比34.2%増加）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は63百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(4) 生産、受注及び販売の実績

当第1四半期連結累計期間において、化成品事業の生産及び販売実績が著しく増加しています。これは、前連結会計年度末にスズカファイン(株)を新たに連結子会社に含めたことによるものであります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成23年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	大阪証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年4月1日～ 平成23年6月30日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成23年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成23年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 418,000		
	(相互保有株式) 普通株式 91,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,535,000	54,535	
単元未満株式	普通株式 533,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,535	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。

自己株式 470株
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株
 スズカケミー(株) 560株
 名岐溶材(株) 874株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成23年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高圧ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	418,000		418,000	0.75
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	6,000	7,000	0.01
計		503,000	6,000	509,000	0.91

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び当第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,672,375	13,167,766
受取手形及び売掛金	21,544,120	20,948,428
商品及び製品	2,225,840	2,450,113
仕掛品	358,985	386,449
原材料及び貯蔵品	1,024,813	1,130,749
繰延税金資産	764,687	600,262
その他	185,500	363,739
貸倒引当金	204,732	217,108
流動資産合計	39,571,591	38,830,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,695,171	4,608,271
機械装置及び運搬具(純額)	2,074,462	1,973,397
土地	11,383,471	11,383,471
建設仮勘定	17,497	28,567
その他(純額)	733,332	708,305
有形固定資産合計	18,903,935	18,702,012
無形固定資産		
のれん	175,427	165,408
その他	251,744	235,877
無形固定資産合計	427,172	401,285
投資その他の資産		
投資有価証券	5,405,610	5,234,634
繰延税金資産	581,249	560,595
その他	1,140,993	1,036,870
貸倒引当金	113,996	89,636
投資その他の資産合計	7,013,856	6,742,464
固定資産合計	26,344,963	25,845,763
資産合計	65,916,555	64,676,165

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,888,335	14,811,732
短期借入金	4,521,577	4,729,616
1年内返済予定の長期借入金	2,051,182	109,849
未払法人税等	1,447,278	256,265
賞与引当金	1,059,642	500,621
その他	1,587,130	1,957,643
流動負債合計	25,555,147	22,365,727
固定負債		
長期借入金	1,783,665	3,694,110
繰延税金負債	426,246	413,090
退職給付引当金	615,669	547,264
役員退職慰労引当金	621,562	135,275
負ののれん	4,354	3,656
その他	570,919	870,044
固定負債合計	4,022,417	5,663,440
負債合計	29,577,564	28,029,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,154	2,745,154
利益剰余金	29,046,794	29,445,785
自己株式	227,918	225,758
株主資本合計	34,449,039	34,850,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	780,220	654,728
その他の包括利益累計額合計	780,220	654,728
少数株主持分	1,109,729	1,142,076
純資産合計	36,338,990	36,646,996
負債純資産合計	65,916,555	64,676,165

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	16,051,496	17,780,349
売上原価	11,851,253	12,821,080
売上総利益	4,200,242	4,959,268
営業収入	82,269	72,673
営業総利益	4,282,512	5,031,942
販売費及び一般管理費	3,225,934	3,823,538
営業利益	1,056,577	1,208,404
営業外収益		
受取利息	2,041	1,520
受取配当金	74,863	62,237
受取手数料	28,760	18,108
負ののれん償却額	4,989	698
持分法による投資利益	20,154	-
その他	103,562	126,194
営業外収益合計	234,371	208,760
営業外費用		
支払利息	23,013	20,751
その他	16,674	28,541
営業外費用合計	39,688	49,293
経常利益	1,251,259	1,367,871
特別利益		
投資有価証券売却益	1,402	-
特別利益合計	1,402	-
特別損失		
投資有価証券評価損	3,713	7,639
ゴルフ会員権評価損	13,196	2,950
役員退職慰労金	4,400	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	92,801	-
特別損失合計	114,110	10,589
税金等調整前四半期純利益	1,138,551	1,357,281
法人税、住民税及び事業税	352,074	259,096
法人税等調整額	108,379	257,576
法人税等合計	460,454	516,673
少数株主損益調整前四半期純利益	678,097	840,608
少数株主利益	8,053	55,503
四半期純利益	670,044	785,104

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	678,097	840,608
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	353,756	129,821
持分法適用会社に対する持分相当額	1,732	-
その他の包括利益合計	355,488	129,821
四半期包括利益	322,608	710,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	322,024	663,827
少数株主に係る四半期包括利益	583	46,959

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<p>(1) 連結の範囲の重要な変更</p> <p>前連結会計年度において連結子会社であった共栄ガス(株)、木本酸素(株)、(株)前田商会及び(株)ナノテクフロン(株)は平成23年4月1日に合併し、ウエルディングガス九州(株)となりました。また、前連結会計年度において連結子会社であった(株)ガスコンは平成23年4月1日に宇野酸素(株)に吸収合併されました。</p> <p>これに伴い、連結子会社の数は4社減少し、33社から29社になっています。</p>

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
<p>(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)</p> <p>当第1四半期連結会計期間の期首以後に行なわれる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しています。</p>
<p>(役員退職慰労引当金)</p> <p>当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員に対する退職慰労金の支出に充てるため、内規に基づく要支給額を計上していましたが、平成23年4月20日開催の取締役会において役員退職慰労金制度を廃止することと、平成23年6月29日開催の定時株主総会において在任期間に対応する退職慰労金の打切り支給を行なうことを決議しています。</p> <p>なお、支給の時期は各取締役及び監査役の退任時とし、当該総会までの期間に相当する役員退職慰労金相当額294,752千円を固定負債の「その他」に計上しています。</p>

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
減価償却費	366,951千円	365,138千円
のれんの償却額	4,763千円	10,019千円
負ののれんの償却額	4,989千円	698千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	331,031	6	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	386,113	7	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,569,328	3,294,214	187,953	16,051,496		16,051,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	70,781	11,487		82,269		82,269
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	12,640,110	3,305,701	187,953	16,133,765		16,133,765
セグメント利益	1,064,162	180,422	14,730	1,259,314	202,737	1,056,577

(注) 1 セグメント利益の調整額 202,737千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,504,086	4,071,136	205,126	17,780,349		17,780,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	61,227	11,446		72,673		72,673
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	13,565,313	4,082,583	205,126	17,853,022		17,853,022
セグメント利益	1,096,982	337,509	19,777	1,454,269	245,865	1,208,404

(注) 1 セグメント利益の調整額 245,865千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円14銭	14円24銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	670,044	785,104
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	670,044	785,104
普通株式の期中平均株式数(株)	55,154,154	55,123,005

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年 8月 9日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木村幸彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 秦 一 二 三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。